

## 北海道大学（前期）【世界史】解答例

1

問1 A郷挙里選 B『五経正義』 C朱子学 D郷紳

問2 (ア) 九品中正

(イ) 中央から地方に派遣された中正官が、地方の人材を九等級に分けて評価し、それに基づいた官位の職に就けた。

(ウ) 中正官が地方の豪族と結託し、有力豪族の子弟が高い官位の職を独占するようになり、門閥貴族が形成された。

問3 (ア) 則天武后 (イ) 周

問4 (ア) 節度使 (イ) 安祿山・史思明

問5 科挙の最終試験として皇帝自らが試験官となる殿試を設けた。これにより合格者の皇帝への忠誠心を高め、皇帝独裁体制を支える官僚を養成すると共に、文官を重要視して文治主義の姿勢を示した。

問6 神宗の時、宰相の王安石が財政再建・富国強兵を目指す改革の新法を展開した。新法を支持する新法党と、反発する大地主などを支持層に持つ、司馬光ら保守派官僚の旧法党の間で政争が起きた。

問7 東林派※

※は概評で解説

2

- 問1 (ア) 人口増加で耕地不足に陥ったうえ、フン人が西進し、東ゴート人を服属させるなどしたため西ゴート人が移動を開始した。  
(イ) カエサルー『ガリア戦記』 タキトゥスー『ゲルマニア』
- 問2 (ア) 伝統的に権威のある教会にコンスタンティノーブルの教会を加えた五本山を中心として、教会と聖職者を序列立て階層的に組織した。  
(イ) エフェソス公会議
- 問3 (ア) 北アフリカーヴァンダル王国 イタリアー東ゴート王国  
(イ) 文化面ではトリボニアヌスに命じて『ローマ法大全』を編纂させたほか、ハギア＝ソフィア大聖堂を再建した。経済面では農業や商工業の振興を図り、東方から養蚕の技術を導入した。
- 問4 (ア) カリフームアーウィヤ 首都名ーダマスクス  
(イ) 地方の有力者や家臣を伯に任じ地方を統治させた。巡察使によって統治を監視する一方、カール自らも巡幸して伯との関係を保った。
- 問5 (ア) インノケンティウス3世 (イ) ラテン帝国
- 問6 (ア) ハンガリーの征服・第一次ウィーン包囲・プレヴェザの海戦から2つ  
(イ) カルロヴィッツ条約

3

問1 (ア) ギリシア

(イ) ムスタファ＝ケマルはスルタン制を廃止してトルコ共和国を建てた。外交的にはローザンヌ条約を結び、トルコの主権を回復した。

問2 (ア) フィウメ (イ) アルバニア

(ウ) ヴァチカン市国の独立とイタリアにおけるカトリックの国教化を認め、ローマ教皇とイタリア政府の絶縁状態を解消した。

問3 ブハラ＝ハン国・ヒヴァ＝ハン国

問4 (ア) ウクライナ・ベラルーシ・ザカフカース

(イ) 農業の集団化が強行され、生産手段を共有した集団農場のコルホーズや、国営農場で賃金を支払う形式のソフホーズが設置された。

(ウ) 秘密警察を中心に大量に人々を逮捕し、処刑あるいは強制収容所送りにする大粛清が展開された他、少数民族の強制移住が行われた。

問5 (ア) ローラット法 (イ) アムリットサール

(ウ) 1935年インド統治法で連邦制の下、州に議会が置かれ自治が認められた。しかし、イギリス人の総督や州知事が強い権限を保持した。